

●登場人物と今回の映像

・ヴェネツィアの元首(ドージェ)フランチェスコ・フォスカリ	レナート・ブルゾン(Br)
その息子ヤコポ・フォスカリ	アルベルト・クピード(T)
ヤコポの妻ルクレツィア・コンタリーニ	リンダ・ローク=シュトゥルマー(S)
十人委員会の委員ヤコポ・ロレダーノ	ルイジ・ローニ(Bs)
元老院議員バルバリーゴ	レナート・カッツァニーガ(T)
ジャンドレア・ガヴァッツエーニ指揮	ミラノ・スカラ座管弦楽団・合唱団

1988年1月収録

●ストーリー

場所：15世紀のヴェネツィア

前奏曲

第1幕：ドゥカーレ宮殿の広間

ヴェネツィアの元首(ドージェ)フランチェスコ・フォスカリの息子ヤコポはフォスカリ家の政敵ロレダーノ等の陰謀によって無実の罪で流刑に処せられていたが、さらに流刑中に敵国ミラノのスフォルツァ家に援助の手紙を書いたとしてヴェネツィアに召喚され裁判にかけている。先ず、ヤコポを裁く元老院議員、十人委員会委員の合唱で幕が開く。

裁きの場に引き出されたヤコポは、ヴェネツィアに戻ったことの感激と共に憎しみの情を歌う。

(ヤコポのシェーナとカヴァティーナ”生まれ故郷のそよ風よ”)

広間の外にヤコポの妻ルクレツィアが現れ夫の無事を祈るが、再度の流刑判決に激しく怒る。

(ルクレツィアのカヴァティーナ”全てをお見通しの神様”)

それに対し、元老院と十人委員会のメンバーは、判決の正当性を主張する。元首フランチェスコは自分の息子を裁かねばならなかったことに苦しむ。

(フランチェスコのロマンツァ”年老いた心臓が打っている”)

其処に、ルクレツィアも現れ、彼女はフランチェスコにヤコポの無実を訴えるが、フランチェスコにはどうしてやることも出来ない。**(フランチェスコとルクレツィアの二重唱)**

第2幕第1場：ヴェネツィア共和国の牢獄

牢獄内でヤコポが悪夢に怯えている。**(ヤコポのアリア”呪わないでくれ、勇者よ”)**

其処に、妻ルクレツィアが、判決が死刑ではなく再度の流刑だと言いヤコポは絶望する。其処に父フランチェスコも現れ、ヤコポへの愛の心情を吐露する。続いて政敵ロレダーノが現れ、衛兵と共にヤコポを連れ出しに来る。**(二重唱～三重唱～四重唱)**

第2幕第2場：元老院議場

元老院議員達はヴェネツィアの裁判の正しさを合唱する。

ヤコポは父元首に恩赦を頼むがどうにもならない。妻ルクレツィアは二人の子供を連れて現れ必死に許しを請い、せめて夫と一緒に流刑地へと嘆願するがロレダーノは許さずヤコポを連れ去る。

(第2幕のコンチェルタート・フィナーレ)

第3幕第1場：ヴェネツィアの船着き場

ヴェネツィアの船着き場で、人々が楽し気にレガッタを見物している。其処へヤコポが連行されヤコポは、駆け付けて来たルクレツィアに悲痛な心の内を歌い船に乗せられる。

(ヤコポのシェーナとアリア”私の為に不幸になった人よ”)